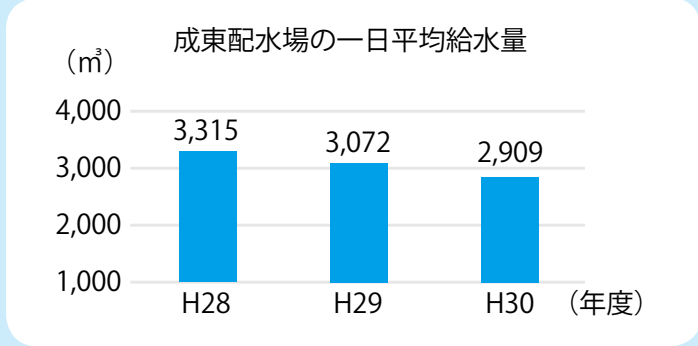
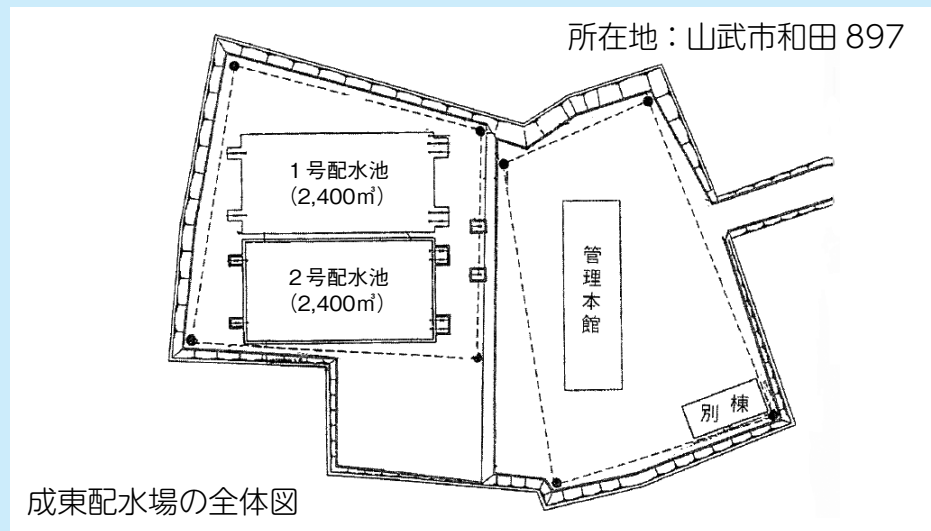




水道施設の統廃合について ～成東配水場～

成東配水場は、山武水道が昭和49年に創設された当初からの施設です。東金浄水場（九十九里地域水道企業団）で浄水された水道水は成東配水場の配水池で一旦貯えられ、自然流下方式により成東地区から蓮沼地区のお客様に給水しております。

近年は、給水人口の伸び悩みや節水機器の普及等から給水量が年々減少しており、施設の老朽化も進んでいる状況です。



成東配水場 管理本館

1号配水池 (右) 2号配水池 (左)



～水道施設の統廃合～

低迷する水需要や施設の老朽化等の課題を踏まえ、施設再構築の検討を行った結果、成東配水場の廃止を含む、水道施設の統廃合を計画的に進めてまいりました。(主な取組内容)

- ・令和元年度に松尾配水場へ3号配水池を築造
- ・平成30年～令和3年度までに、東金配水場から成東地区へ給水するための配水管を整備

～令和3年10月頃に成東配水場を廃止予定～

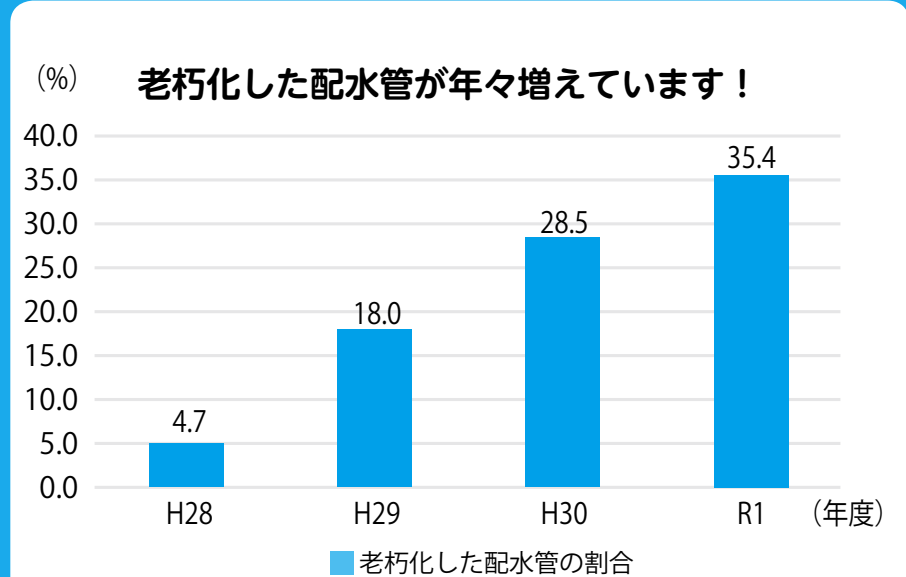
成東地区への配水管整備が完了しますと、東金配水場系と松尾配水場系の配水区域の変更を行い、成東配水場からの給水を停止します。

発見

水道を取り巻く現状 Vol.2

数字で見よう。～老朽化した配水管の割合～

配水管の更新を計画的に実施しているところですが、創設時に布設した配水管は耐用年数（40年）を超え、更新時期を迎えています。古くなった配水管は、漏水や断水を引き起こす原因になりますので、今回は山武水道の配水管がどのくらい老朽化をしているのか、現状を見ていきます。



■ 配水管の現状

山武水道は創設から45年が経過し、これまで整備してきた配水管は老朽化により更新時期を迎えています。老朽化した配水管は、令和元年度で全体の35.4%を占めています。

■ これからの更新について

水道施設の更新や耐震化には、時間もお金もかかるのですが、近年は、給水人口の減少により給水収益の増加が見込めない状況にありますので、老朽化した配水管は優先順位を決めて、費用の平準化を図りながら計画的に更新を進めています。

このような状況でも、安心・安全な水道水を安定してお届けしていくために『山武郡市広域水道企業団 中長期経営プラン2016』を策定し、取り組んでいるところです。
ホームページで公表していますのでご覧ください。
URL ▶ <http://www.water-sansui-ki.jp/>

